

### (3) 新鶴村の米づくり

新鶴村の農家の人たちに話をうかがいました。



いねの<sup>なえ</sup>苗は、4月10日ころからビニールハウスの中で育てるんだよ。こうすると、苗も早く育つし、霜の害も受けないからね。日中は<sup>あつ</sup>暑くなるので、わきを開けておくんだ。<sup>たね</sup>種もみは、コシヒカリと<sup>はつばし</sup>初星をJAから買っているよ。わたしの家では4月20日ころから<sup>たお</sup>田起こしをするよ。これは、田をたがやすことで、今年植えるいねの苗がよく育つようにしているんだ。今ではトラクターで去年刈り取ったいねの株も根ごとほり起こせるから楽になったね。



5月に入ると<sup>しろ</sup>代かきを始めるよ。田に水を引いてから平らにたがやし、<sup>ひりょう</sup>肥料は水を引く前にまいておくんだ。代かきが終わると、流れてくる<sup>ざっそう</sup>雑草や去年のいねの株を取りのぞき、水を張っておくんだ。田植えは5月の連休で終わってしまうようにしている。川の水がなくなならないようにほかの地区と田植えの時期をずらすんだ。いつもは会社に勤めているお父さんも仕事を休んで手伝ってくれるから助かるねえ。

